

巻 頭 言



千葉県知事 森田 健作

未来に向けて世界との友情を深める

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、世界中の人々の行動・意識・価値観などに多大な影響を及ぼしており、国際交流、多文化理解の面でも、人の往来が制限されることで貴重な機会が失われるという大変残念な状況にあります。

他方で、新型コロナウイルス感染症との闘いは、これまで培ってきた国・地域との結び付きや多様な人々との交流を強めるものともなっています。

千葉県では、感染症対策物資が不足していた折、友好都市である台湾の桃園市から「遠く離れていても、共に手を取り合い、感染拡大の防止に努めることが、この困難に打ち勝つ最善の方法だと信じています」との市長の力強いメッセージとともに、サージカルマスクやアルコール・ハンドジェル、防護服等が届きました。さらに、中華人民共和国、大韓民国、台湾の政府・自治体・関係団体からも、多くの感染症対策物資を寄贈いただき、県内の医療機関等で活用され、大きな励ましとなりました。

また、本年3月には、「言語・文化・習慣の異なる外国人県民と日本人県民が、共に地域社会の一員として助け合い、安心して暮らし働き、活躍することのできる県づくり」を目指す「千葉県多文化共生推進プラン」を策定したところです。本プランに基づいて多文化共生の理念や方向性を県民の皆様や市町村、国際交流団体等と共有・連携するとともに、「国内外の誰もが過ごしやすく住みやすい環境」「豊かな自然」「世界に誇れる社会基盤」という本県の魅力を、国内外に積極的に発信し、姉妹都市・友好都市をはじめとした多くの国・地域との交流と友情を一層深めてまいりたいと思っております。

そして、来年に開催が延期となった「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」では、本県でも引き続き8競技の実施が予定されています。会場自治体として、安全・安心な大会に向けて必要な準備を進めてまいります。世界各地から訪れる方々に、「日本に来てよかった」、「また来たい」と思っただけのよう、何よりもあたたかい“おもてなし”の心を持って、お迎えしたいと思います。